

歴代会長

初代	篠 豊一	五代	二里木 孝次郎	九代	大槻 重雄
二代	大野 義寿	六代	小林 文秀	十代	近藤 源吾
三代	中村 富雄	七代	山本 孝雄	十一代	桑原 征子
四代	瀬沼 しげ子	八代	田中 明		(平成11年4月就任)

町会の沿革

当町会は、昭和34年4月に設立された。新青梅街道の南側に位置する。設立当初は人家もまばらで、広々とした田園風景があった。

同30年代後半になって区より一部活動助成金が出るなどして、町会運営にも活気が出るようになってきたが、同40年代後半に区の補助金が打ち切りとなり、町会活動も思うように任せず、同51年4月の総会で町会を一時休止することを決定した。

町会の休止状態が続く間に、住宅やマンションなどの建設が進み新入居者が増加した。このため、町会有志が町会継続が「必要」だと決定し、同54年4月に新役員による第二次町会がスタートした。これまでの会則を時代にあった内容に改め、活動が始まった。会員の増加と共に町会の組織も拡大し、日常生活の変化に沿った新しい事業計画が作成され、町会会員も積極的に参加し協力した。

昭和62年に青少年育成活動の一環として、若い世代の町会加入の促進の為、町会組織の中に子供会を発足させた。活動として毎年行われている縁日は、若いお母さん方が積極的に計画し参加して、交歓の輪を広げて親しまれている行事となっている。

その他の事業は次の通りです。

- (1) 資源回収、分別回収
- (2) 防災訓練
- (3) 年間を通して地域のパトロール
- (4) 秋の町会バス旅行、子供会のバスハイク
- (5) 敬老の日のお祝い、新入学児童のお祝いのお届け

以上のような事業を行いながら、会員同士の親睦をはかっている。住民の皆さんが増々高齢化してゆく中で、町会の方々がこれからも住み慣れたこの地域で安心して暮らし続けていけるよう、見守り・支えあい活動を進めていく事、そして町会の皆さんがお互いに顔の見える関係になり、気付いて、知らせ、つながる事だと思っています。工夫次第で様々な活動が出来ると思っています。又、いつくるかわからない首都直下型地震の災害に対応できるように、防災訓練を通して必要な知識や技術を習得しています。災害の「いざ」という時に共助の体制がとれるのが町会として大切な事と思い、平成27年より避難所運営会議において、北中野中学校の協力により生徒さんと一緒に訓練を行っています。これも共助体制をとるのに地域の力と若い世代と一緒に活動して行く事が大切だと思います。これからも、町会役員皆で協力し合い、住み続けたい町、安心して生活できる町を目指して、支え合いを大切に町会活動に努めて行きたい。



縁日